

宮城看護学会第 20 回学術集会開催要項

公益社団法人 宮城県看護協会

宮城看護学会は、広く会員に研究発表の場を提供し、実践に活かす研究活動の普及を支援するとともに、看護職の学術研究の振興に努め、地域の人々の健康と福祉の向上に貢献することを目的とし開催いたします。

メインテーマ

「心のゆとりと看護の価値を支える最新技術とは」

1. 開催日時	2026年11月14日(土) 10:00~16:30		
2. 演題登録期間	2026年4月1日(水) ~ 6月3日(水)		
3. 参加登録期間	2026年7月1日(水) ~ 10月9日(金)		
4. 開催会場	フォレスト仙台 (仙台市青葉区柏木1丁目2番45号)		
5. 参加登録資格	宮城県看護協会会員、非会員、看護学生		
6. 参加登録費	会員	非会員	看護学生 (免許未取得者)
	3,500 円	7,000 円	1,000 円
	■ 参加登録は宮城県看護協会 manaable(マナブル)からお申込みください。 ※お申込の際は、事前にマナブルのユーザー登録が必要です。 ■ 筆頭・共同演者も参加登録と参加費の支払いが必要です。 ■ 一度お振込みされた参加登録費は、返金できません。ご注意ください。		

演題登録・参加登録に関するお問い合わせ先

公益社団法人宮城県看護協会 教育部 学会担当 TEL022-273-3923

7. 演題登録について	
1) 演題登録資格	<p>(1) 筆頭演者(発表者)は宮城県看護協会(以下「本会」)会員であること。</p> <p>(2) 共同演者 看護職は全員本会会員であること。看護職でない場合(職種申告が必須)は、本会会員でなくとも共同演者となることができる。 ※ここでの「本会会員」とは、令和8年6月3日時点で令和8年度の会費を納入済みである方を指している。 ※看護職で本会会員でない場合は、<u>演題登録前に入会手続きを完了させ、会費納入を済ませること。</u></p>
2) 演題登録要件	<p>(1) 未発表・未登録の演題であること。ただし、自施設内での発表は可とする。</p> <p>(2) 倫理的に配慮された研究であり、その旨が抄録本文に明記されていること。看護実践に役立つ示唆のある報告であること。</p> <p>(3) 本要項の「8. 抄録原稿の作成方法」に則って作成され、不備がないこと。</p>
3) 種別の選択と項目立て	<p>(1) 「研究報告」と「実践報告」の種別がある。以下の説明に従い、「研究報告」か「実践報告」の種別を選び登録する。</p> <p>【研究報告】 調査等に基づく研究の成果についてまとめられた、看護学の発展につながる報告。</p> <p>【実践報告】 臨床等の実践内容から得られた成果についてまとめられ、看護実践に示唆を与える報告。</p> <p>(2) 研究報告と実践報告では項目立てや各項に記載する内容が異なるため、8. 抄録原稿の作成方法を熟読し抄録を作成する。併せて、P 9・10の「研究報告」「実践報告」の抄録原稿作成形式を参照のこと。</p>
4) 発表形式・発表者	<p>(1) 口演とポスターの形式がある。登録時にどちらかを選ぶことができるが希望とは異なる発表形式となる場合がある。発表形式と発表の詳細については、選考結果の通知時に案内する。</p> <p>(2) 発表に関して、筆頭演者が発表者となる。</p>
5) 演題登録手続き	<p>演題の登録は、宮城県看護協会研修申込サイト manaable から受け付ける。登録に必要な書類(様式1, 2, 抄録原稿様式別紙 1-1, 1-2)は、本会ホームページまたはマナブルよりダウンロードし書類を作成する。</p> <p>宮城県看護協会 HP>教育研修>学術集会 マナブル>研修を探す>第20回学術集会演題登録</p>

	<p>(1)登録に必要な書類</p> <p>①抄録原稿(別紙 1-1、1-2) 指定形式で作成した抄録原稿1部、査読用抄録原稿(筆頭・共同演者名・施設名を除いた原稿)1部をそれぞれ Word データで登録する。</p> <p>②宮城看護学会第 20 回学術集会演題登録申込書(様式1)</p> <p>③宮城看護学会第 20 回学術集会演題登録確認リスト(様式 2)</p> <p>(2)登録方法</p> <p>①研修申込サイト manaable より、筆頭演者自身のアカウントでログインして、「第 20 回学術集会演題登録」から演題登録期間内に登録する。</p> <p>②登録に必要な事項の記載の際は、抄録に記載した演題名・名前・施設名など同様に記載する。</p> <p>③上記、(1)の①～③の電子データをアップロードする。 ※登録 1 週間以内にメールにて登録確認を学会事務局より連絡する。連絡がない場合は、下記に必ず問い合わせてください。</p> <p>(3)演題登録に関するお問い合わせ先</p> <p>学会専用メールアドレス society@miyagi-kango.or.jp</p>
6)演題採否	<p>(1)演題の採否は、宮城県看護協会学会委員会で選考し、決定する。</p> <p>(2)学会委員会から修正を求められた場合は、コメントに従い修正し、指定期日(1週間以内)までに再提出する。再提出内容に不備があれば更に提出を求める場合がある。なお、求めに対し提出がされない場合は、不採択となる。</p> <p>(3)選考結果は、令和 8 年 7 月下旬に通知予定。</p>
7)選考における総合判定基準	初回選考では、種別によりそれぞれ以下の判定基準に沿って選考する。
(1)研究報告	<p>A. 看護実践への示唆 より質の高い看護実践に役立つ示唆が示されている。</p> <p>B. 新規性および研究手法の適切性 研究に新規性がある。 適切な研究手法を用いている。</p> <p>C. 倫理的配慮 倫理的配慮が適切に行われている。</p> <p>D. 論理の一貫性 目的から結果・考察までに一貫性がある。 研究目的を明確に示している。</p>

	<p>分析方法を適切に示している。 事実を客観的に示している。 得られた結果に基づいた解釈をしている。</p>
	<p>E. 構成の適切性 演題登録要項に沿って形式を整えている。</p>
(2)実践報告	<p>A. 看護実践への示唆 より質の高い看護実践に役立つ示唆が示されている。</p>
	<p>B. 倫理的配慮 倫理的配慮が適切に行われている。</p>
	<p>C. 論理の一貫性 目的から結果・考察までに一貫性がある。 実践のねらいを明確に示している。 実践内容(手順・過程や成果)を明確に示している。 事実を客観的に示している。 得られた結果に基づいた解釈をしている。</p>
	<p>D. 構成の適切性 演題登録要項に沿って形式を整えている。</p>
8. 抄録原稿の作成方法	
1)抄録原稿作成時の留意点	<p>(1)抄録原稿様式(別紙 1-1、1-2)を使い抄録を作成してください。フォーマット(文字間、行間など)は変更せず、A4判1枚にまとめる(引用文献等を含む)。</p> <p>(2)上行は1段組とし、「演題名」「副題(あれば)」「キーワード」「筆頭演者名(頭に○印をつける)・共同演者名」「所属施設名」を記載する。</p> <p>(3)演題名は研究及び実践の全体像を網羅した、簡潔明瞭な表現を工夫して記載する。演題名、副題はそれぞれ 30 字以内とし、抄録の内容を適切に示すものとする。</p> <p>(4)研究や実践を表すキーワードは 3 つ以上 5 つ以内とする。</p> <p>(5)本文は 2 段組にし、10 ポイントの MS 明朝体に設定、1,800 字程度とする。</p> <p>(6)本文中の大項目から小項目の番号は、I、1、1)、(1)の順に振り、数字は半角とする。</p> <p>(7)余白は、上部は 18mm 以上、下部は 20mm 以上、左右は 15mm 以上の余白を必ずとる。</p> <p>(8)図表は入れず、文章のみとする。</p>
2)倫理的配慮	<p>別添「研究における倫理的配慮とその記述方法」を熟読し、抄録原稿には、倫理的配慮について記載する。</p>

3)利益相反の開示	過去 3 年間の利益相反の有無について、倫理的配慮の項目に含めて記載する。また、学術集会当日の発表媒体でも、利益相反の開示をする必要がある。
4)抄録原稿項目立てと記載する内容	<p>【研究報告】</p> <p>I. 研究目的 研究で明らかにしたいことを、看護との関連で具体的に明確に述べる。</p> <p>II. 研究方法</p> <p>1. 研究方法 研究目的を達成する上で、選択した方法を記載する。 例)事例研究、調査研究、実験研究、等</p> <p>2. 研究対象 研究対象は何か、対象者数、研究対象選択基準があれば述べる。 例)患者、看護者、看護学生、看護記録、資料など、○人、○件</p> <p>3. データ収集期間 データ収集期間を記載、不必要な個人情報を公表しないように年月日ではなく、入院期間等を記載するなどの配慮が必要。</p> <p>4. データ収集方法 使用したデータの収集方法を具体的に記載する。 例)面接法、観察法、質問紙法等、それらの具体的な内容も記載</p> <p>5. データ分析方法 収集したデータの分析過程を記載する。各種理論及び統計処理などを使用した場合は、それを具体的に記載する。</p> <p>III. 倫理的配慮 「研究における倫理的配慮とその記述方法」を参照し記載する。 例)所属施設の倫理審査委員会の承認を得た。対象者には、研究目的、方法、参加の自由や途中辞退の権利、プライバシーの保護、学会発表の予定などについて、文書と口頭で説明し、同意書に署名を得た。なお、本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。</p> <p>IV. 結果 得られた結果を具体的に述べる。</p> <p>V. 考察 結果から導き出されることを、目的との関連で客観的、具体的に述べる。</p> <p>VI. 結論 研究結果から得られた最終的な成果を述べる。</p>

引用文献

引用した文献を記載する。参考とした文献は記載しない。

【実践報告】

I. 実践の背景

実践の背景を記載する。

II. 実践内容

1. 研究対象

研究対象は何か、対象者数、研究対象選択基準があれば述べる。

例) 患者、看護者、看護学生、看護記録、資料など、〇人、〇件

2. 期間

取り組んだ期間を記載する。データ収集を行った場合は、データ収集期間も併せて記載するが不必要な個人情報を公表しないように年月日ではなく入院期間等を記載するなどの配慮が必要。

3. 実践経過

実践の具体的内容、事例の場合は事例の概要、業務改善の方法などを記載する。

III. 倫理的配慮

「研究における倫理的配慮とその記述方法」を参照し記載する。実践報告で倫理審査を受けていない場合は、組織的な了承を得ていること、対象者への説明と同意・対象者への不利益や負担への配慮について等、内容を抄録原稿に必ず記載する。記載がない場合、不採用となる。

例) 所属施設の看護部の了解を得た。対象者に、目的、方法、結果発表、参加の自由や不利益からの保護、プライバシーの保護などについて、文書で説明し、同意を得た。なお本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

IV. 実践結果

得られた結果や成果を具体的に述べる。

V. 考察

結果から導き出されることを、実践の背景との関連で客観的、具体的に述べる。

VI. 結論

研究結果から得られた最終的な成果を述べる。

引用文献

引用した文献を記載する。参考とした文献は記載しない。

<p>5) 引用文献記載方法</p>	<p>(1) 引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に 1) 2) 3) と番号をつけ、本文の最後一括して引用番号順に記載する。引用文献記載欄には、1)2)3) と番号を付けて羅列する。</p> <p>(2) ページは、引用した部分を数字で表す。共著者は3名まで表記し、それ以外は他とする。</p> <p>(3) 学術雑誌と書籍は、記載方法が異なる。コロン(:)で、コンマ(,)ピリオド(.)の使い方にも注意する。</p> <p>(4) 引用文献は次のように記載する。</p> <p><雑誌掲載論文></p> <p>■ 著者名:表題名,雑誌名,巻(号),ページ,発行年(西暦年次).</p> <p>例)宮城協子:看護研究の〇〇〇について,〇〇看護,25(11),p.35,2008.</p> <p>例)宮城協子,仙台二郎,青葉八幡,他:看護の〇〇〇研究,第〇回日本看護学会論文集(看護管理),p.5-8,20△△.</p> <p><単行本></p> <p>■ 著者名:書名(版),発行所,ページ,発行年(西暦年次).</p> <p>例)学会宮子:看護実践研究の手引き(3),〇〇看護出版,p.145-146,2006.</p> <p>■ 著者名:表題名,編者名,書名(版),発行所,ページ,発行年(西暦年次).</p> <p>例)学会看子:研究における〇〇,宮城協子編,看護実践研究(2),△△出版,p.88,2007.</p> <p><翻訳書></p> <p>■ 原著者名:書名(版),発行年,訳者名,書名(版),発行所,ページ,発行年(西暦年次).</p> <p>例)Alice Williams:Nursing Research(4),2001,看護花子訳,看護研究(4),〇〇看護出版,p.279-280,2003.</p> <p><電子文献></p> <p>※公的機関から提供される情報(統計、法令等)、電子ジャーナルのみを対象とする</p> <p>■ 著者名:表題名,雑誌名,巻(号),ページ,発行年(西暦年次),アクセス年月日, URL.</p> <p>■ 発行機関名(調査/発行年次),表題,アクセス年月日, URL.</p> <p>例)文部科学省,厚生労働省(2014),人を対象とする医学系研究に関する倫理指針,2015年4月10日閲覧,http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Dajinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf.</p>
--------------------	--

10.個人情報と著作権について

1) 個人情報の取り扱いについて	<p>参加登録、演題・抄録登録により、本学会へお知らせいただいた個人情報は、参加受付、本会に関する各種通知、抄録集の編集および発送、問い合わせ等に利用する。</p> <p>また、抄録集・参加証・論文集の校正および発送等で、ご登録いただいた氏名、都道府県名、所属施設名、連絡先を契約した制作会社に提供する場合がある。</p> <p>個人情報の第三者への提供停止等ご希望の場合は、本協会教育部へお問い合わせください。</p>
2) 著作権について	<p>宮城看護学会抄録集等に掲載された著作物(電子媒体への変換による利用も含む)の複製権、公衆送信権、翻訳・翻訳権、二次的著作物利用権、譲渡権等は本学会に譲渡されたものとする。</p> <p>著作者自身のこれらの権利を拘束するものではありませんが、再利用する場合には本協会教育部までご連絡ください。</p>

「研究報告」抄録原稿作成形式

↑ 上部余白 18mm 以上

演題名（中央揃え） 14 ポイント MS 明朝

～ 副題 ～（ある場合は中央揃え なければ空白） 12 ポイント

キーワード：○○○○，○○○○，○○○○，（3～5 個、中央寄せ、9 ポイント）

○筆頭演者名、共同演者名、○○○○、○○○○
（筆頭演者名には○印をつける、右寄せ、9 ポイント）

所属施設名（右寄せ、9 ポイント、正式名称を記載）

[9ポイント、空白 一行空ける]

← 左部余白
15 mm以上

→ 右部余白
15 mm以上

I. 研究目的

研究で明らかにしたいことを、看護との関連で具体的に明確に述べる。

（本文 MS 明朝 10 ポイント）

II. 研究方法

1. 研究方法
2. 研究対象
3. データ収集期間
4. データ収集方法
5. データ分析方法

III. 倫理的配慮

記載例) 所属施設の倫理審査委員会の承認を得た。対象者には、研究目的、方法、参加の自由や途中辞退の権利、プライバシーの保護、学会発表の予定などについて、文書と口頭で説明し、同意書に署名を得た。なお、本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

IV. 結果

得られた結果を具体的に述べる。

V. 考察

結果から導き出されることを、目的との関連で客観的、具体的に述べる。

VI. 結論

研究結果から得られた最終的な成果を述べる。
○○○

引用文献

- ※引用文献は記載するが、参考文献は記載しない
- 例) 宮城協子：看護研究の○○○について、○○看護, 25 (11) , p. 35-36, 2008.
- 例) 宮城協子：看護実践研究の手引き(3), ○○看護出版, p. 145-146, 2006.
- 例) Alice Williams : Nursing Research(4) , 2001, 宮城協子訳, 看護研究(4), ○○看護出版, p. 280, 2003.

- ※本文 10 ポイント MS 明朝
- ※1 段 1 行の文字数 22 文字
- ※1 ページの行数 48 行
- ※1800 字程度、A4 用紙 1 枚を厳守
- ※図・表は入れない、文章のみ

↓ 下部余白 20mm 以上

「実践報告」抄録原稿作成形式



上部余白 18mm 以上

演題名（中央揃え） 14 ポイント MS 明朝

～ 副題 ～（ある場合は中央揃え なければ空白） 12 ポイント

キーワード：○○○○，○○○○，○○○○，（3～5 個、中央寄せ、9 ポイント）

○筆頭演者名、共同演者名、○○○○、○○○○
（筆頭演者名には○印をつける、右寄せ、9 ポイント）

所属施設名（右寄せ、9 ポイント、正式名称を記載）

[9ポイント、空白 一行空ける]

左部余白
15mm 以上

I. 実践の背景

実践の背景を記載する。（本文 MS 明朝 10 ポイント）

II. 実践内容

1. 対象

研究対象は何か、対象者数、研究対象選択基準があれば述べる。

2. 期間

取り組んだ期間を記載する。データ収集を行った場合は、データ収集期間も併せて記載する

3. 実践経過

実践の具体的内容、事例の場合は事例の概要、業務改善の方法などを記載する。

III. 倫理的配慮

記載例) 所属施設の看護部の了解を得た。対象者に、目的、方法、結果発表、参加の自由や不利益からの保護、プライバシーの保護などについて、文書で説明し、同意を得た。なお本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

IV. 実践結果

得られた結果や成果を具体的に述べる。

V. 考察

得られた結果が意味することや成果が得られた理由などを客観的に述べる。

VI. まとめ

実践結果から得られた最終的な成果(まとめ)を述べる。

引用文献

※引用文献は記載するが、参考文献は記載しない
例) 宮城協子：看護研究の○○○について、○○看護, 25 (11), p. 35-36, 2008.

例) 宮城協子：看護実践研究の手引き(3), ○○看護出版, p. 148, 2006.

例) Alice Williams : Nursing Research(4) , 2001, 宮城協子訳, 看護研究(4), ○○看護出版, p. 279-280, 2003.

※本文 10 ポイント MS 明朝

※1 段 1 行の文字数 22 文字

※1 ページの行数 48 行

※1800 字程度、A4 用紙 1 枚を厳守

※図・表は入れない、文章のみ

右部余白
15mm 以上

下部余白 20mm 以上

